Rotary OSAKA KAMIGATA RC

# CLUB WEEKLY No.0060

# よいことのために手を取りあおう

2026-27年度 RI会長　オラインカ・ハキーム・ババロラ

基本的教育と識字率
向上月間／ロータリーの友月間

例会日：2026年9月28日（令和8年9月28日）

会長　間嶋伸治

## 今日の例会

2026年９月28日

- オンライン例会　12：30～
- 進行担当　青戸会員
- 今日の歌　奉仕の理想
- 出席　竹谷会員

## 次回の例会

2026年10月５日

- 進行担当　青戸会員
- 今日の歌　君が代　我らの生業
- 出席・ニコニコ　溝畑（洋）会員
- meeting
- 第４回理事会　13：40～14：20

## 会長の時間

【会長　間嶋伸治】




少しご報告をさせていただきます。先週29日木曜日に、私と創立会長の溝畑先生とで、大手前整肢学園へ伺ってまいりました。大手前整肢学園には、生まれてから一度も病院を出たことのない子どもたちが約50名いらっしゃいます。
今回は、園長であり小児科医でもある杉本先生をはじめ、現場の先生方と約1時間ほどお話をさせていただきました。お手元に、大手前整肢学園からの要望書をお配りしていると思います。杉本先生に今年は歯科検診をするだけではなく、もう一歩踏み込んで、現場のスタッフがどんなことで困っているのか、私たちにお手伝いできることがないかを聞いていただけないでしょうかとお尋ねしたところ、今回、現場の皆さんから具体的なたくさんのご要望をいただきました。ただ、内容を拝見すると、職種は違っても、皆さんが同じところでつまずき困っておられることが分かりました。


大阪上方ロータリークラブ　創立：2024年7月22日　例会：第1・3週目は対面・第4週目はオンライン

会長：間嶋　伸治
幹事：中島　勇人
会報資料担当：青戸　佳世

【例会場】〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 6-1-55 シェラトン都ホテル大阪
TEL:06-6773-1111　FAX:06-6773-3322
【事務局】〒579-8058 東大阪神田町 3-12　医療法人翔聖会 気付
TEL:080-2026-1803　Mail:osaka.kamigata.r.c@kind.ocn.ne.jp

医務部門には、泌尿器科、小児科、整形外科、精神科の先生方をはじめ、リハビリテーションのST（言語聴覚士）、PT（理学療法士）、看護師など、さまざまな職種の方がいらっしゃいます。それぞれの専門分野は違いますが、子どもたちのために、同じ目的に向かって取り組んでおられます。そこで、今回いただいたご要望を受けて、私と溝畑先生とで話し合い、「これを職種ごとに別々に考えるのではなく、多職種で連携して、私たち大阪上方ロータリークラブとして、皆さんをまとめてサポートしていこう」ということになりました。具体的には、まず10月29日木曜日、13時から15時頃まで、全園児の歯科検診を行います。現在、上方には新入会の石井先生を含め7名の歯科医の先生がおられますので、この日に全員の検診を行いたいと思っています。また、検診だけではなく、どうしても2～3 名若干名が困ってることがあるそうなので、それも現場で解決しようという風に思ってます。さらに、ブラッシングについてのデモンストレーションも行います。「どのようなブラッシングが正しいのか」ということだけではなく、普段の口腔ケアについても、実際にスタッフの皆さんのお口のケアをさせていただきながら、一緒に考えていきたいと思っています。そして最後に、職員の皆さんとディスカッションの時間を設け、現場で困っていることや、今後私たちにできることについて、直接お話を伺いたいと思っています。

まさに今回の取り組みは、RI会長のテーマである「持続可能なインパクトを生み出す」ということにもつながり、現場主導で継続的に前進していくための第一歩になるのではないかと感じています。そして、私自身、これは必ずやり遂げたいと思っています。

ぜひ会員の皆様にも、実際の現場を見ていただき、同じ時間を共有していただきたいと思います。10月29日、ぜひご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

## 幹 事 報 告

【 幹事　中島　勇人 】

① 10 月 3 日(土)10：00時からYMCA 国際文化センターにて開催されます
クラブ国際奉仕・社会奉仕合同委員長会議には、和田悠希子会員に出席していただきます。よろしくお願いいたします。

② 同じく１０月３日13：30からYMCA 国際文化センターにて開催されます地区財団セミナーには間嶋会長に出席していただきます。よろしくお願いいたします。

③ 次回１０月５日は第４回理事会が開催されます理事役員の皆様、会員の皆様ご出席の程よろしくお願いいたします。

## 米山奨学生報告

【 マスード・アファフさん 】

「先月、8月２５日、イスラーム暦からすると3月12日であり、この日は、預言者ムハンマド様のお誕生日でした。なので、今日はその預言者様について一言話そうと思います。

約1400年前に亡くなられましたが、預言者様がどんな人だったのか、あまり知っている人がいないと思うので、ここで預言者の名言を一つ紹介させていただきます。預言者様がこうおっしゃいました。

「あなたがたの中で最も優れた者とは、その言葉と手によって他人を傷つけない者である。また、あなたがたの中で最も強い者とは、怒りを抑えることのできる者である。」と。何当たり前なことを言っていますか、と皆さんは思っているかもしれません。ただ、預言者様はただ善を説くだけの人ではなかったんです。彼自身の人生を見てみると、その言葉を実現してみせた人でした。何度も石を投げられ、言葉で侮辱されたことがあります。それでも、預言者様が一度も、石を投げ返したりとか、怒ったり暴力に訴えたりなど、しなかったんです。むしろ、そうされた時は、相手に何も罰が当たらないように、相手が不幸に逢わないように、いつもこうおっしゃってました。「神様どうか彼らをお許しください。」と。預言者様はこんな人でした。慈悲そのものでした。

一方、私たちはどうでしょうか。殴られたら、あるいは、悪口されたら、誰かに侮辱されたら、怒られずにはいられるでしょうか。多分できないと思います。

怒りを抑えることができるのは、本当に強さですね。私たちも、強い者になれるように、これからは努力していきましょうか。

## 子供食堂クリスマス会報告

【 社会奉仕委員会　小林友美子　古河亜紀子】

12月に予定しております子ども食堂のクリスマス会について、先日、2名でコロコロ食堂さんへ打ち合わせに伺ってまいりました。

開催日は、12月3日に決定いたしました。当日、開催する場所も見学させていただき、参加人数については、10名限定の予約制で行うことになりました。また、クリスマスの際に子どもたちにお話をさせていただく予定で、その内容についても打ち合わせをしてまいりました。当初は「食育」についてのお話をさせていただこうと考えていたのですが、コロコロ食堂さんでは、週2回子ども食堂を開催されており、食事の際には園長先生が、子どもたちに姿勢や食べ方などについて指導されているようでしたので、今回は食育のお話ではなく、歯磨き指導をさせていただくことにしました。またご報告させていただきます。



【2660地区　ガバナー　横田　】

皆様には日頃より地区の活動ならびに運営に対し、多大なるご協力を賜っておりますこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、中島幹事、和田会員、小林会員におかれましては、地区の委員会においてもご活躍いただいております。あわせて、心より御礼申し上げます。

そして、1点ご報告がございます。

先日ご案内させていただきました熊本地震への支援要請につきまして、当クラブからも地区へご協力いただきまして、皆様のご協力、誠にありがとうございました。

本来、締め切りは10月末となっておりますが、緊急性を要することから、いったん8月末で取りまとめを行い、今月初めに約800万円の支援金を、現地へお送りすることができました。皆様の温かいご協力に、改めて心より感謝申し上げます。

改めまして、本日は卓話の機会をいただき、誠にありがとうございます。

改めまして、本日は卓話の機会をいただき、誠にありがとうございます。

2026-27年度のRIババロラ会長は、「持続可能なインパクトを生み出そうーCREATE　LASTING　IMPACT」をメッセージとして掲げられました。

私たちロータリアンは、これまでも地域社会や世界のために数多くの奉仕活動を行ってきました。しかし、単に活動を実施するだけではなく、その成果が将来にわたって継続し、次の世代にも良い影響を与え続けることが求められています。一方で、ババロラ会長はもう一つ大切なことを私たちに問いかけています。それは、「ロータリーが引き起こす自分自身の内面の変化に着目しよう」ということです。

私たちはロータリーで何をしたかについて語ることはあっても、ロータリーによって自分がどう変わったかを語る機会は決して多くありません。 しかし、ロータリーの本当の価値は、奉仕の受益者だけではなく、活動に参加した私たち自身の心にも変化をもたらすことにあるのではないでしょうか。私は今年度の地区運営において、「ロータリーモーメント」を大切にしていきたいと考えています。ロータリーモーメントとは、ロータリー活動を通じて心が揺さぶられる体験のことです。

例えば、奉仕活動の現場で子どもたちの笑顔に触れた瞬間。

支援を受けた方から感謝の言葉をいただいた瞬間。

長年の活動が実を結び、地域社会の変化を実感した瞬間。

あるいは、クラブの仲間との友情や信頼の深さに気付いた瞬間。

そうした出来事は、一見すると小さな出来事かもしれません。しかし、その体験が私たちの価値観を変え、人生観を変え、行動を変えていきます。 そして、一人のロータリアンの変化は、やがてクラブを変え、地域社会を変え、世界を変える力となります。 私は、「持続可能なインパクト」とは、プロジェクトの成果だけを意味するものではないと考えています。 もちろん、奉仕活動による社会的な成果は重要ですが、それ以上に大切なことは、その活動に参加した人々の心に残るインパクトです。 人の心に生まれた感動や気付きは、その後の行動につながります。 行動は習慣となり、習慣は文化となります。 そして文化は、長期的で持続可能な変化を生み出します。だからこそ私は、皆様にお願いしたいのです。ぜひクラブの中で、会員の皆様が経験したそれぞれのロータリーモーメントを語り合ってください。

・入会して最も感動した出来事は何だったのか。

・人生の転機となった奉仕活動は何だったのか。

・なぜ今もロータリーを続けているのか。

・なぜ財団や米山に要請以上の寄付をしようと思ったのか。

そうした体験の共有は、クラブの結束を強め、新しい会員の成長を促し、ロータリーの魅力を次世代へ伝える大きな力になります。 ロータリーは単なる奉仕団体ではありません。 ロータリーは、人を育て、人を変え、人と人をつなぐ組織です。そして、その変化が積み重なることで、社会に持続可能なインパクトをもたらします。2026-27年度、私たちはRI会長のメッセージのもと、それぞれのクラブで、それぞれの地域で、持続可能なインパクトの創出に取り組んでまいります。 その第一歩として、一人ひとりが自らのロータリーモーメントを大切にし、その感動を仲間と分かち合っていただきたいと思います。

皆様とともに、ロータリーの力をさらに高め、地域社会と未来のために新たな一歩を踏み出していきたいと思います。

結びに皆様のクラブが今年度、より元気ある、魅力ある、個性あるクラブとなりますよう祈念して卓話を終わります。

## ポール・ハリス・ソサエティ（PHS） 申し込方法

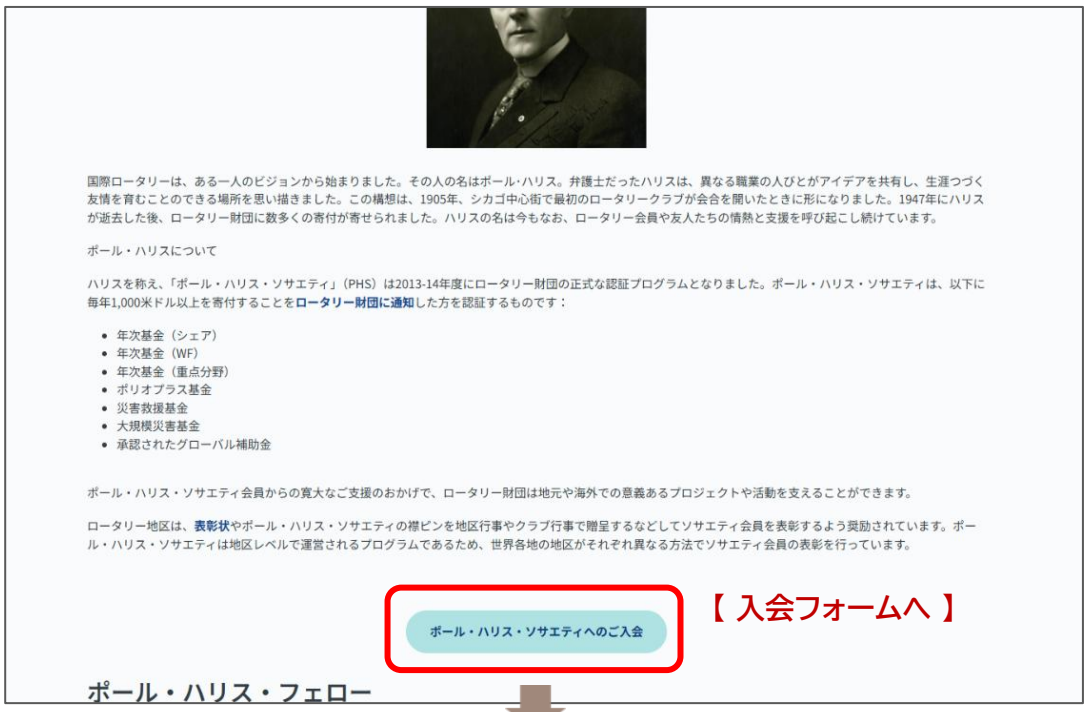
ポール・ハリス・ソサエティ（PHS）は、年次基金／ポリオプラスへ、一括もしくは合計で、
毎年 1,000 ドル以上のご支援を誓約下さる個人の認証です。















こちらに必要事項を記入して次に進み、

PHS入会の意思表示項目にも同意します。

## ポリオプラス・ソサエティ（PPS）申込方法

ポリオプラス・ソサエティ（PPS）とは、世界からポリオ（小児まひ）を完全に根絶するまで、毎年100米ドル以上をロータリー財団のポリオプラス基金に寄付し続けることを誓約する会員参加型のプログラムです

・寄付の金額と頻度：毎年100米ドル以上の寄付を、ポリオが根絶されるまで継続します。
・ビル＆メリンダ・ゲイツ財団のマッチング：ロータリーがポリオ根絶のために集めた寄付には、ゲイツ財団が2倍の上乗せ（2to1マッチング）を行います。そのため、100米ドルの寄付は合計300米ドル分の支援になります。

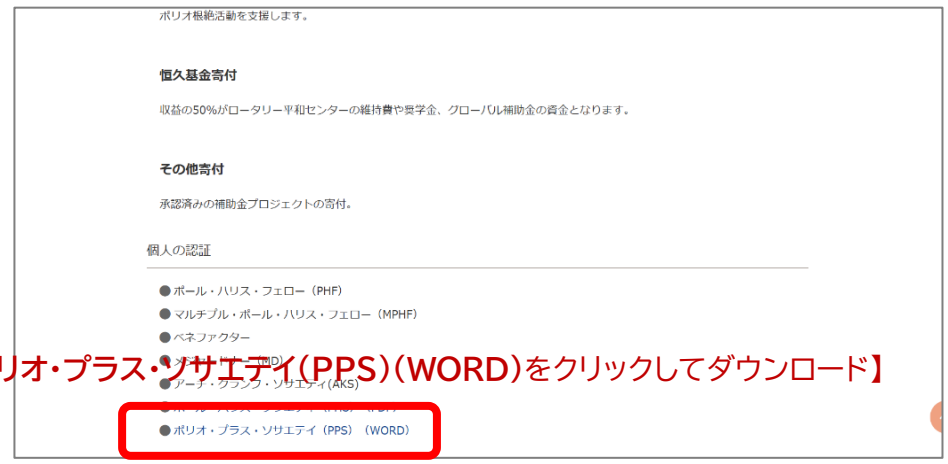
【2660地区ホームページ】
⬇
【ロータリー会員はこちら】
⬇
【地区委員会情報をクリック】
⬇
【ロータリー財団委員会
をクリック】



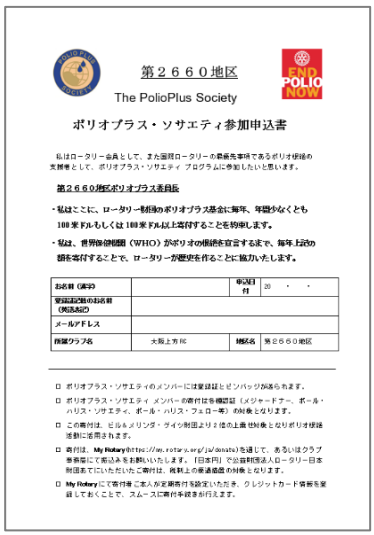

【ロータリー財団 委員会ページ】

【財団寄付をクリック】




**参加申込書**




**ポリオ・プラス・ソサエティ（PPS）（WORD）をクリックしてダウンロード】**

こちらの申込書をご記入の上事務局に
ご提出いただきましたらお手続きをいたします。

※なお、申し込む書は事務局にもございます。